



大阪有機化学工業株式会社
OSAKA ORGANIC CHEMICAL INDUSTRY LTD.

会社説明会および 2015年11月期 決算説明会資料

2016年1月8日



目 次



大阪有機化学工業株式会社
OSAKA ORGANIC CHEMICAL INDUSTRY LTD.

1. 2015年11月期 決算概要
2. 2016年11月期 業績予想
3. 中長期経営計画 Next Stage 10
4. 資本政策

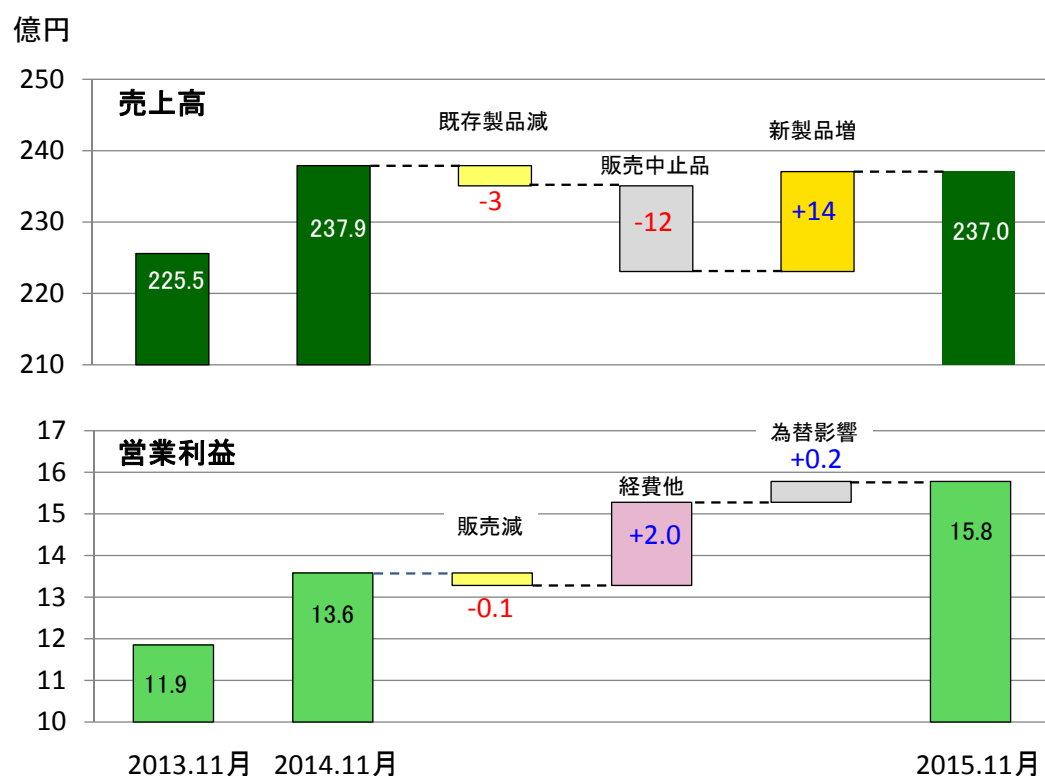


1. 2015年11月期 決算概要

2015年11月期 決算概要



	2014/11	2015/11	増減	前年比
売上高(百万円)	23,790	23,707	-83	100%
営業利益(百万円)	1,358	1,578	+220	116%
経常利益(百万円)	1,468	1,751	+283	119%
当期純利益(百万円)	891	1,300	+409	146%
純資産(百万円)	24,141	25,851	+1,710	107%
自己資本比率	69.5%	76.7	—	—
一株当たり純利益(円銭)	38.90	56.81	—	—



(金額単位: 百万円)

		2014/11		2015/11		増減	前年比
			(構成比率)		(構成比率)		
売上高		23,790		23,707		-83	100%
	化成品事業	11,483	48%	10,732	45%	-751	93
	電子材料事業	6,618	28	7,574	32	+956	114
	機能化学品事業	5,688	24	5,400	23	-288	95
営業利益		1,358		1,578		+220	116
	化成品事業	259	19%	339	21%	+80	131
	電子材料事業	983	72	1,071	68	+88	109
	機能化学品事業	116	9	168	11	+52	145

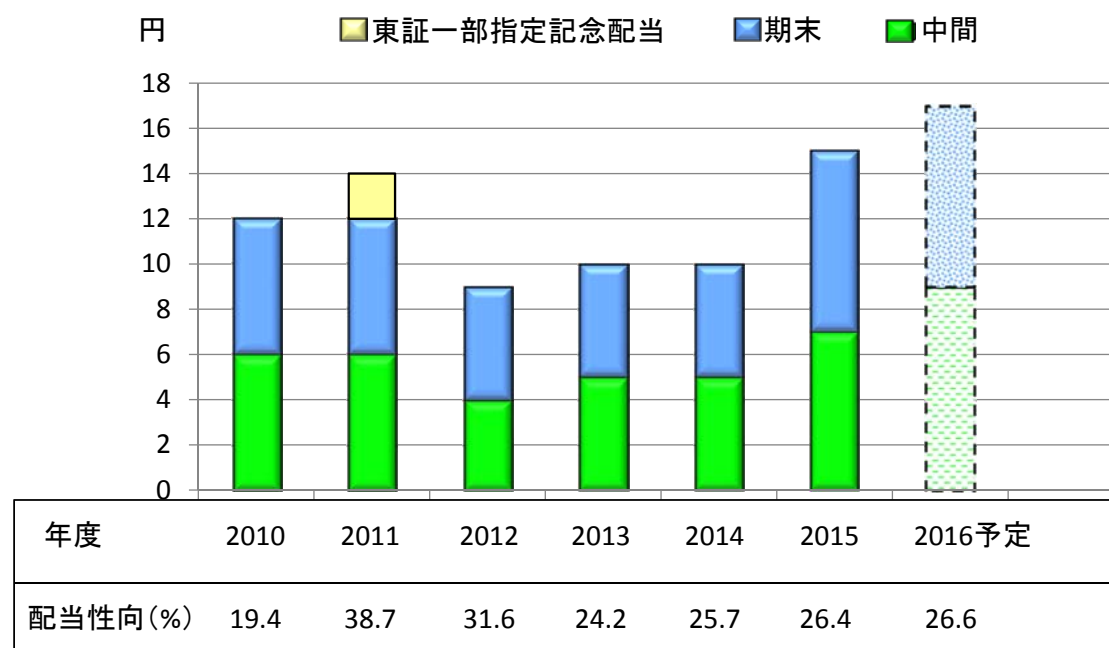
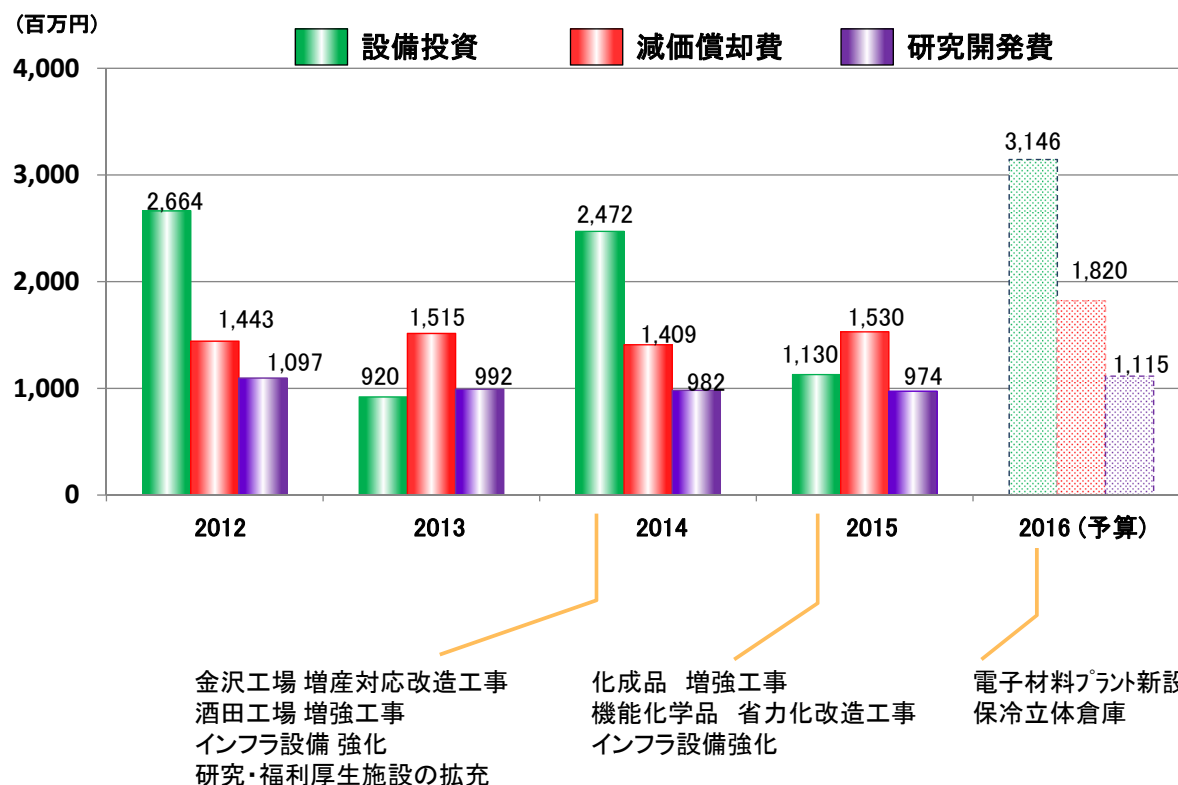


2. 2016年11月期 業績予想

2016年11月期 業績と経営指標予想



	2015/11	2016/11	前年増減	前年比
売上高(百万円)	23,707	24,500	+793	103%
化成品事業	10,732	10,734	+2	100%
電子材料事業	7,574	8,001	+427	106%
機能化学品事業	5,400	5,764	+364	107%
営業利益(百万円)	1,578	1,800	+222	114%
経常利益(百万円)	1,751	1,940	+189	111%
当期純利益(百万円)	1,300	1,430	+130	110%
純資産(百万円)	25,851	26,163	+312	101%
売上高営業利益率(%)	6.7	7.3	+0.6	—
ROE(%)	5.3	5.5	+0.2	—
一株当たり純利益(円銭)	56.81	63.80	+6.99	—
自己資本比率(%)	76.7	74.3	-2.4	—





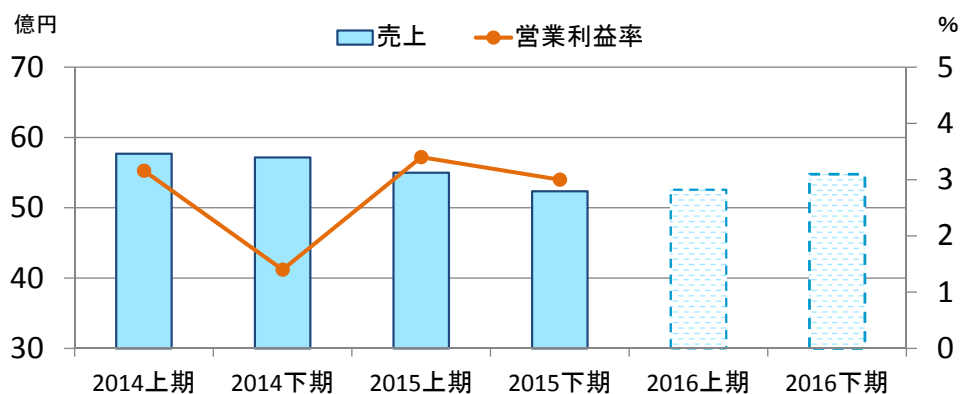
事業方針

安定基盤事業

事業展開

・収益性アップ	製品の選択と集中 優位性のある製品(4-HBA,IBXA等)の拡販
・海外拡販の強化	光碩上海法人とアメリカ駐在員との連携による拡販
・高付加価値製品の上市	特殊インク用原料(UVインクジェット等)の拡販に注力

実績・予想



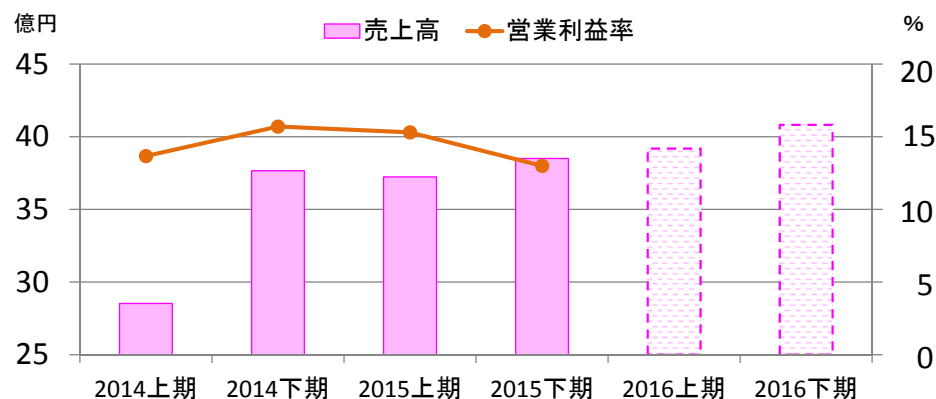
事業方針

先端材料事業

事業展開

・主力製品のシェア拡大	高精細PS材およびArFレジスト用原料の拡販
・次世代表示材料の開発	タッチパネル用絶縁膜材料の用途拡大

実績・予想





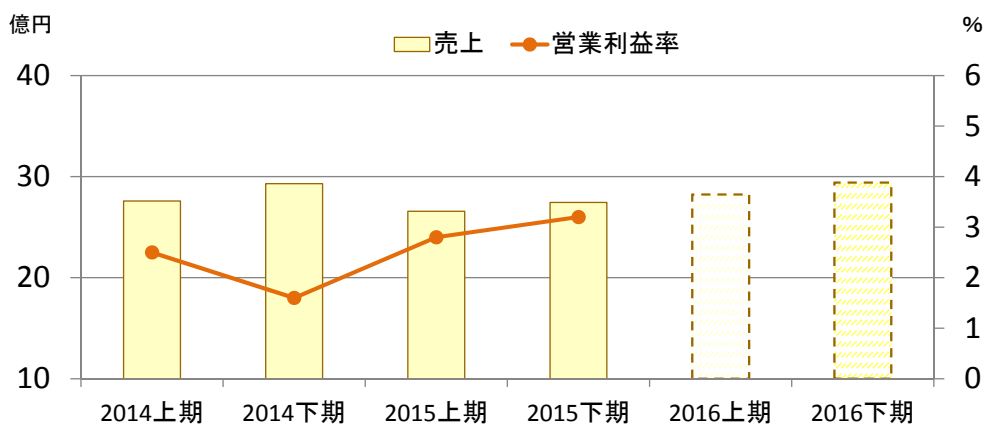
事業方針

第3の事業育成

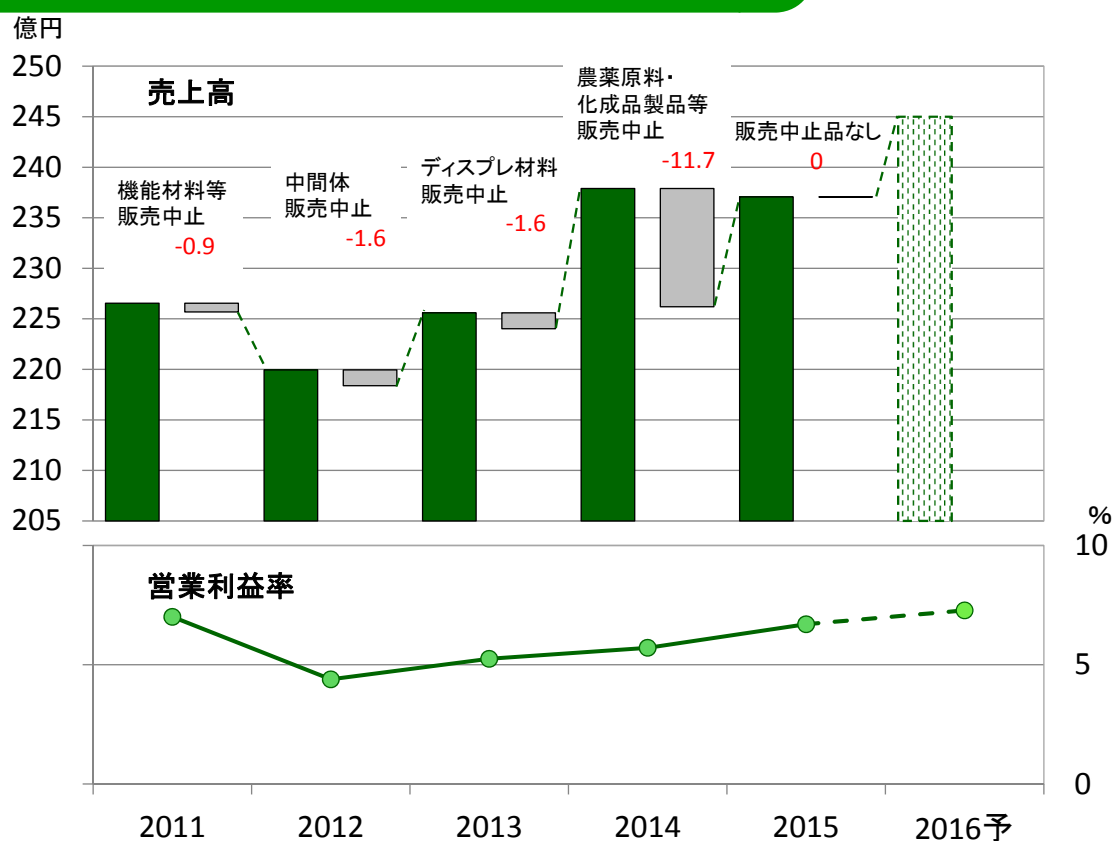
事業展開

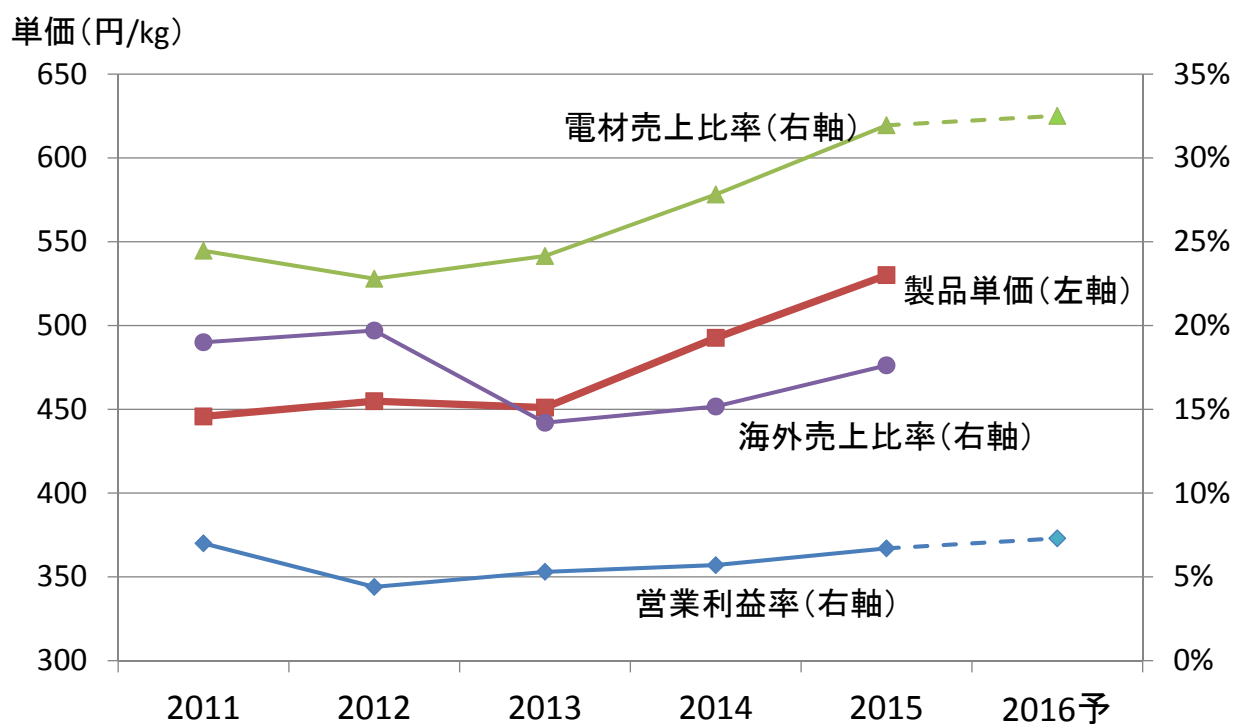
・新規分野の開拓	超親水性コート材の販売計画を見直し
・海外拡販強化	化粧品基剤では高品質化で勝負
・既存製品の合理化と拡販	化粧品基材のプロセス改良 撥材の設備増強を実施済

実績・予想



通期業績と合理化の推移





3. 中長期経営計画 Next Stage 10

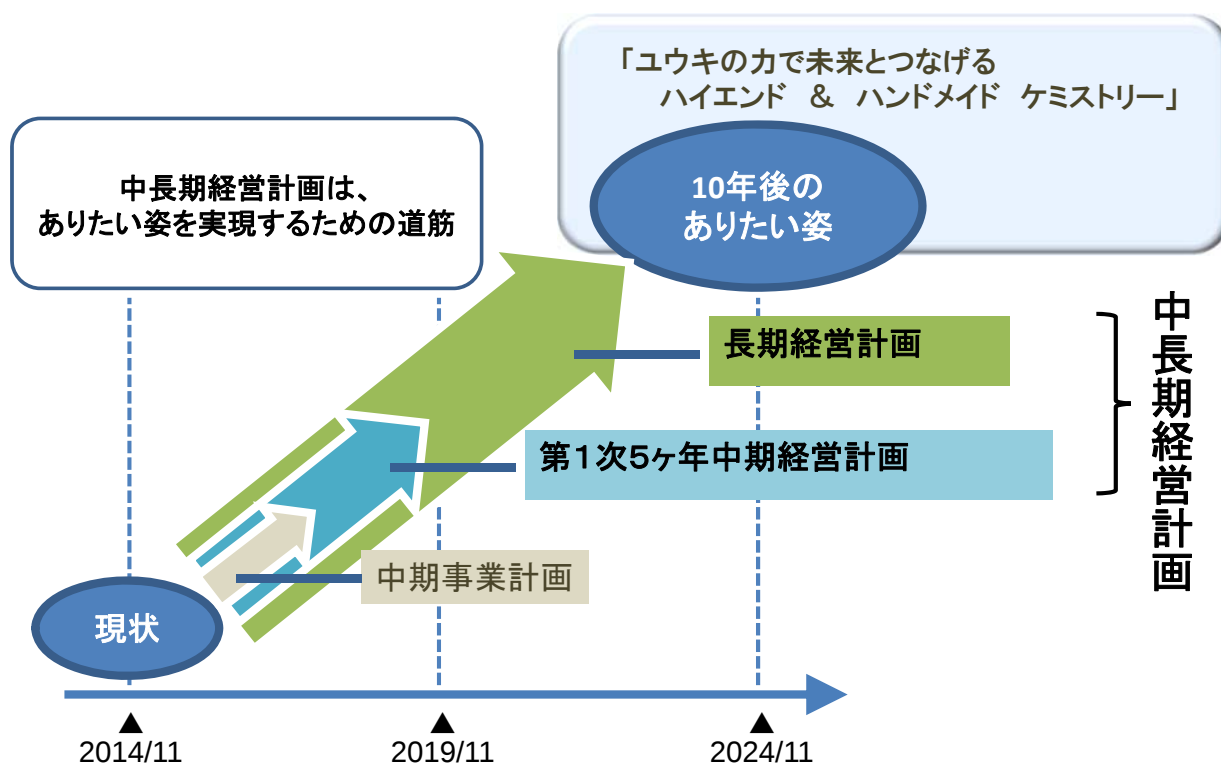
基本理念

従業員の愛情と和と勤勉を大切にし、常に新しい技術の研鑽に努めることにより社会と産業界の進歩、発展に貢献する。

社是

1. 会社と従業員は、共に手を携えて進む一心同体にしていわゆる運命共同体であり、会社の繁栄は従業員の活動に負い従業員の幸福の源泉は会社の繁栄にある。
2. 会社の基本方針は常に偏向と独善の誤りを排し、各自の誠実とたゆまざる努力と、お互いの信頼と協力と愛情により、個人の人格を高め優れたる生産活動を通じて社会に奉仕貢献することである。

中長期経営計画Next Stage 10 計画の位置づけ





基本方針	展開目標
1. 既存事業における3つのNo.1 実現に向けたビジネスモデルの革新	『表面修飾・配列制御』『高純度』技術による機能性No.1 少量多品種と開発・生産スピードNo.1 一貫製造体制による顧客プロセスのソリューションNo.1
2. 新たな収益の柱となる新規事業の創出	『表面修飾・配列制御』『高純度』技術による エレクトロニクス・ライフサイエンス・環境・エネルギー 分野を開拓
3. グローバル事業の拡大・推進	化成品・機能化学品：中国、アメリカを主対象地域 電子材料：中国、韓国、台湾を主対象地域 現地生産の検討・提携・M&Aも考慮
4. 経営・事業基盤の整備と強化	トータルコストの上昇抑制 人材育成・獲得と技能伝承 効率的な組織基盤の整備



(金額単位:億円)

		2015年 11月期 1年目実績	2016年 11月期 2年目予想	2019年 11月期 5年後目標	2024年 11月期 10年後目標
売上高		237	245	270	300以上
	化成品事業	107	107	123	—
	電子材料事業	76	80	82	—
	機能化学品事業	54	58	65	—
海外売上高比率(%)		18	19	20	30%以上
営業利益		16	18	22	30以上
営業利益率(%)		7	7	8	10%以上



4. 資本政策

資本政策



基本方針

当社は、企業価値の向上を目指し、財務体質の健全性、資本効率及び株主還元の最適なバランスを図ってまいります。

配当政策

配当性向30%を重要な指標のひとつとし、支払いに努めます。

自己株式の取得

経営環境の変化に機動的に対応し、株主価値の向上に資する資本政策等を可能とするため、自己株式の取得を行います。

重要経営指標目標

売上高営業利益率10%以上、ROE5%以上を目標にします。
自己資本比率70%前後を維持します。

政策保有株式に関する方針

保有基準を定め、保有理由を明確に開示します。

資金調達(増資等)の方針

健全な財務体質の維持、資本効率の向上、株式価値の希薄化等への十分な配慮と調達コスト・スピード等を考慮し、資金調達を行います。